

消化器・一般外科 身体の負担が少なく安全な腹腔鏡下手術

消化器・一般外科では、主に腹部に関連した手術を行っています。消化器の腫瘍では、胃がん・結腸がん・直腸がんを中心とした消化器がんに対して手術や抗がん剤治療を行っています。良性疾患では、単径ヘルニア（脱腸）・胆石胆嚢炎・虫垂炎・痔核の手術を行っています。術式の選択では、低侵襲手術である腹腔鏡下手術を最優先事項とする方針で臨んでいます。臓器血流を可視化できる近赤外線（IR）機能を有する腹腔鏡を2台導入しており、消化管吻合時には全例使用し、縫合不全を起こさないように努めています。

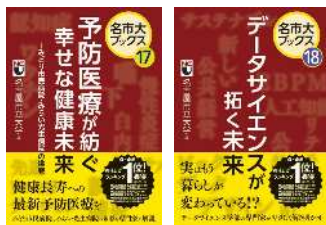


消化器・一般外科の医師

開院時には常勤医師2名でしたが、手術件数の増加に伴い、令和6年4月より1名増員となりました。名古屋市立大学の附属病院として、最新のエビデンスに基づいた高度医療の提供を行うとともに、地域の拠点病院として患者さんと地域の連携医療機関と気軽にコミュニケーションが図れることを最重要課題として診療に従事して参ります。

身近な題材を分かりやすく解説する名市大ブックス新刊発売中

7月末に「名市大ブックス」最新巻（17巻・18巻）を発売！！
名市大の医師や教員らによる、身近な題材をイラストも用いて分かりやすく解説している「名市大ブックス」シリーズ。17巻では、病院長をはじめ、「みどり市民病院」の医師7名、同じく医学部附属病院の「みらい光生病院」の医師らも執筆し、「予防医療」について解説しています。人生100年時代、自身の体調管理だけでなく、大切な家族の“異変に気づく”きっかけになってほしい、そんな思いを込めています。
同時発売の18巻では、身近に潜むデータサイエンスを事例をもとに紹介。“買いたくなるデザイン”や“熟練の技をデータ化して後継する”など、身近なシーンを題材に解説しています。



書店や、Amazonなどのオンラインストア、みどり市民病院の売店でもお買い求めいただけます。ぜひご覧ください！
名市大ブックスの詳細はこちら→



医療機関向け 地域医療連携ネットワークシステム～MIDORIネット～のご案内

MIDORIネットとは

当院の電子カルテと地域医療機関のパソコンをインターネットで結び、登録医療機関の先生方に当院における患者さんの診療情報を提供するシステムです。



患者さんのカルテを日常の診察室で参照できるので安心。

みどり市民病院 インターネット 登録医療機関

MIDORIネットの機能

- ① 外来診察・検査のオンライン予約
外来診察枠や検査枠をオープンにしており、診療科の診察や検査予約を直接、お取りいただけます。
- ② 診療情報の共有
患者さんの同意をいただき、カルテ情報や画像情報といった診療情報の閲覧が可能となります。
令和6年4月からMIDORIネットを導入いたしました。予約の利便性を向上させ、患者さんの情報を共有することにより、地域全体で医療サービスを提供していきたいと考えております。MIDORIネット接続のお手続きに関しましては、順次、進めておりますので、地域医療連携センターのスタッフにお申しつけください。

お問い合わせ 地域医療連携センター直通 TEL 052-892-1334 [平日 8:45～17:15]

発行元 名古屋市立大学 医学部附属 みどり市民病院 広報委員会 名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地 TEL 052-892-1331【代表】



MIDORI REBORN



新救急外来 [左上/右上: 救急隊専用出入口、左下: 初療室、右下: 時間外出入口 [平日 17:15-翌 7:30、土曜・日曜・祝日]

Contents

- P1 救急部長メッセージ
「新救急外来がオープンしました！」
- P2 TOPICS① 泌尿器科にハイブリッドツリウム YAG レーザーを導入しました！
- P3 お知らせ
● 消化器・一般外科
● 名市大ブックス
● MIDORI ネットご案内
- 新救急外来ご案内
- TOPICS② 安全な抗がん剤投与を目指して「外来化学療法センター」



名古屋市立大学 医学部附属 みどり市民病院

NAGOYA CITY UNIVERSITY MIDORI MUNICIPAL HOSPITAL

救急部長メッセージ



救急部 部長
大久保 仁嗣
Hirotsugu Ookubo

新救急外来がオープンしました！

昨年4月より、地域医療に深く貢献する大学病院を目指して救急医療のご提供にも努めて参りましたが、本年6月の救急外来リニューアルにより初療室増床と救急動線の改善で救急同時受入も可能となり地域からのご要請により対応力を高めさせていただきます。

救急医療は、安全な社会生活を守るために欠かせない「セーフティー・ネット」の一部です。当院は名古屋市の二次救急医療機関（入院・手術を必要とする重症患者に対応した救急医療機関）の役割を担っており、日々多くの患者さんを受け入れています。

名古屋市立大学の救急科専門医師が平日日勤帯の救急初期診療を行い、必要に応じて名古屋市立大学医学部附属病院群と連携をとりながら、最善を尽くした医療を提供して参ります。

今後も地域の医療機関や救急隊と密接な連携を図り、皆さまのご意見を大切にしながら、ひとりでも多くの患者さんにより良い救急医療を提供できるように努めて参ります。

新救急外来ご案内

新救急外来は、初療室、診察室、点滴処置室、感染症対応の陰圧室を設け、24時間体制の救急医療を提供いたします。

救急外来の受診をご希望の方は、下記の持ちものをご持参ください。救急車での搬送や患者さんの重症度により、診察の順番や待ち時間が異なる場合がございますのでご了承ください。

新救急外来のオープンに伴い、患者さんはじめご面会の方等につきましても、入館方法が変更となります。夜間および休日は敷地北側の第一駐車場側にある「時間外出入口」（写真の赤丸の部分）からお入りいただき、「救急外来受付」へお申し出ください。

▶初療室



▲時間外出入口 [平日 17:15-翌 7:30、土曜・日曜・祝日]

救急外来受診時の持ちもの

- ①保険証 ②お薬手帳
- ③医療受給者証* ④診察券* ⑤紹介状*

*お持ちの方のみ



MIDORI TOPICS

泌尿器科にハイブリッドツリウムYAGレーザーを導入しました！

地域貢献型大学病院を自負しているみどり市民病院の泌尿器科に受診される患者さんの中で、最も多い症状や病気が頻尿など「おしっこ」に関する事、そして時には救急車を呼ぶぐらい痛くなる尿管結石でした。そして、私たちがこの1年で携わった手術で最も多かったのも前立腺肥大症や尿管結石に対する手術でした。そこで、令和6年5月に新しい手術機器ハイブリッドツリウムYAGレーザー RevoliX HTL™を導入いたしました。

一般的に前立腺肥大症はツリウムYAGレーザー、結石はホルミウムYAGレーザーで治療されるのですが、このハイブリッドツリウムYAGレーザー RevoliX



手術機器を囲む泌尿器科医師

HTL™は1台で前立腺肥大症に対する「経尿道的前立腺レーザー蒸散術」、尿管結石に対する「経尿道的尿管結石砕石術」が可能です。そして結石破砕においてはホルミウムYAGレーザーより、患者さんに優しく、かつ、確実に治療効果を発揮することができます。ハイブリッドツリウムYAGレーザー RevoliX HTL™で、益々安全に確実な手術を提供していきたいと考えております。

もっと大きなロボット手術や、最先端のがん遺伝子治療は、当院が窓口となり名古屋市立大学医学部附属病院群と連携して行います。これからも「おしっこ」の悩みや痛い「結石」、悪い病気が心配なとき、お気軽にみどり市民病院泌尿器科へお越しください。



RevoliX HTL™での手術風景

安全な抗がん剤投与を目指して「外来化学療法センター」

2人に1人は一生のうちにかかるといわれている「がん」。その「がん」の治療法のひとつが化学療法（抗がん剤を使った治療）です。過去には、吐き気や倦怠感などの副作用が原因で入院でのみ治療可能であった「がん」ですが、現在、吐き気止めが発達したことや病院のフォロー体制が整備されたことにより、その治療法の多くが外来でも安全に受けられるになりました。そんな安全な化学療法を実施するためにサポートを行っているのが「外来化学療法センター」です。

「外来化学療法センター」は病床を計4床備え、令和6年度より、「がん専門薬剤師」を1名、「がん化学療法看護認定看護師」を1名配属することで、医師、看護師、薬剤師が治療に携わり、多くの患者さんにより安全な化学療法を実施できる体制を整えました。今後も患者さんが安心して治療を受けられるよう日々努めて参ります。



リラクゼーションチェア (3床)



治療用ベッド (1床)